

ほけんだより

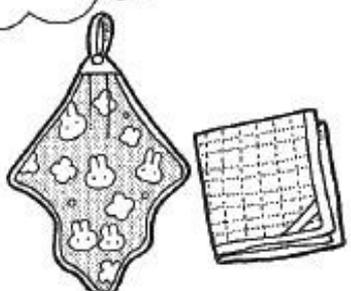
幼児のうちから正しい手洗いを身につけましょう。

手洗いは衛生の基本です。感染症などの予防のためにもきちんと手を洗うことを教えることが大切です。手はいろいろなものに触れるため、手を介して細菌やウイルスに感染する場合があります。外遊びの後、トイレの後、食事の前にはきちんと手を洗います。幼児のうちから正しい手洗いが身につけられるように心がけましょう。

<p>手のひら</p>  <p>石けんを泡立てて手のひらを洗います。</p>	<p>手の甲</p>  <p>手の甲を左右ともこすり洗いをします。</p>	<p>指の間</p>  <p>指を編むようにして、指と指の間を洗います。</p>
<p>指先・つめ</p>  <p>指先を丸めて、手のひらでひっかくようにして洗います。</p>	<p>親指・手首</p>  <p>親指を握って洗ったら、手首も握って洗います。左右とも忘れずに。</p>	<p>洗い流す</p>  <p>水でいないに石けんを洗い流します。</p>

①最後に清潔なやわらかいタオルで水分をふき取ります。

**ハンカチ
タオルにも注目！**



**清潔なものを
使っていますか？**

園に行く時に持たせているハンカチやタオルは清潔な物ですか？きれいに手を洗うことを身につけても、洗った手をふくためのハンカチやタオルが汚れては、役に立ちません。きちんと洗濯したハンカチタオルを用意してあげましょう。

～病欠状況～

4/18(月)～4/22(金)の病欠人数は6名です。内、嘔吐・下痢の症状がある人が2名、熱のある人が2名、咳の出る人が2名です。